

## 大津港駐車場における今後の管理の方向性について

### ● これまでの経緯と今後の方針

- 大津港駐車場は大津港利用客の利便性確保と浜大津周辺の駐車場不足に対応することを目的に計画され、多額の建設費用を確保するため、国の無利子貸付金等を活用し、有料道路事業として道路公社が平成 7 年 9 月に工事を開始した。
- 平成 9 年の供用開始後、想定していた周辺開発事業の頓挫や民間駐車場の開設等により、駐車台数は平成 22 年度以降下降を続けている。業務収入である駐車場料金収入が業務経費を下回っており、公社の保有する債券等の利息収入で赤字補填をしている状況である。
- 令和 3 年度の財政的援助団体等の監査において、「駐車場の廃止も視野に、早期償還について県との協議を加速化させ、早急に方向性を示されたい」との意見を付されている（R 4. 3. 25 滋賀県公報掲載 次頁別紙参考のとおり）。
- 監査意見を踏まえ、令和 4 年 8 月 9 日の常任委員会において、「大津港駐車場について、早期償還し県で管理するのか、料金徴収満了期間まで公社が管理するのか、廃止するのか、今後の事業の方向性について関係機関等と協議を進めたい」旨を報告した。
- 今般、以下のとおり方向性を示すものである。



- 大津港駐車場について、令和 6 年度からは港湾施設の有料駐車場として県が管理を行うこととしたい。
  - ・ 道路公社の管理期限を令和 8 年度末から令和 5 年度末とする
  - ・ 県管理（指定管理）に向け、令和 5 年度から準備を進める
- 公社の管理期限の前倒しに当たり、事業許可や公社定款の変更を国へ申請するため県議会の議決が必要であり、2 月定例会議に議案として提出したい。

#### （令和 6 年度から県が管理を行う利点）

- ・ 令和 5 年度末までに県に移管することにより、追加出資（補助金）なしで清算が可能
- ・ 港湾施設と一体管理を行うこと等により、人件費の削減が可能（約 6 百万円）
- ・ 固定資産税が不要（約 5 百万円）
- ・ 道路公社が管理を継続した場合に係る必要経費が不要（本社経費等 約 2 百万円）
- ・ 道路整備特別措置法の枠組みにとらわれない柔軟な駐車場経営（区画割、料金）が可能

## 別紙参考

### ● 令和4年3月25日監査意見（抜粋）

(3) 大津港駐車場の業務赤字解消に向けた今後の方向性について(滋賀県道路公社)

滋賀県道路公社（以下「公社」という。）に対しては、平成28年度実施の監査において、大津港駐車場の稼働率の向上を求める監査意見を付している。

その後、公社は広告媒体を活用した広報による改善策を講じるなど、利用促進を図ってきたが、浜大津周辺の駐車場については、供給過剰の状況にあり、大津港駐車場の抜本的な経営改善は困難とのことである。

大津港駐車場の直近5年度分の決算においては、毎期、業務収入である駐車場料金収入が業務経費を下回っており、公社の保有する債券等の利息収入で赤字補填をしている状況である。

そのうち、令和2年度決算では、業務経費が約2,500万円に対し、駐車場料金収入は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、大幅に減少したことなどにより、業務経費の51.1%に留まり、大幅な業務赤字が発生している。

また、赤字補填に使われている債券等の利息収入は近年の金融情勢により、前年度と比較しても約1,000万円減少するなど年々減少しており、利息収入により大津港駐車場事業の収支不足を補填することは、他事業の収支への影響も懸念されることから、これ以上、実質赤字の駐車場事業を継続すべきではないと考える。

については、駐車場の廃止も視野に、早期償還について県との協議を加速化させ、早急に方向性を示されたい。

### ● 今後のスケジュール

- 令和5年3月 常任委員会（2月定例会議）  
事業許可変更（料金徴収期間の変更）や公社定款（基本計画）の変更にあたっては、県議会の議決が必要なため、議案を提出予定
- 令和5年度  
指定管理者の募集、設置管理条例の改正、修繕工事等

### ● 収支状況（実績）

| 年度      | 収入①    |        |        | 支出②    |        |                         |         |        | 収支差<br>①-② | 年度末<br>未償還額 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------------|---------|--------|------------|-------------|
|         | 料金収入等  | 利息収入   | 計      | 償還金    | 維持修繕費  | 運営経費<br>(人件費、固定資産税、光熱費) | 損失補填引当金 | 計      |            |             |
| H28     | 25,505 | 5,600  | 31,105 | 10,228 | 8,169  | 20,204                  | 2,361   | 40,962 | △ 9,857    | 333,434     |
| H29     | 24,972 | 13,200 | 38,172 |        | 14,242 | 21,459                  | 2,283   | 37,984 | 188        | 333,246     |
| H30     | 21,787 | 9,300  | 31,087 |        | 7,898  | 20,967                  | 2,014   | 30,879 | 208        | 333,038     |
| R1(H31) | 18,055 | 8,100  | 26,155 |        | 3,517  | 20,766                  | 1,657   | 25,940 | 215        | 332,823     |
| R2      | 13,295 | 11,972 | 25,267 |        | 4,409  | 20,534                  | 1,160   | 26,103 | △ 836      | 333,659     |
| R3      | 12,548 | 13,050 | 25,598 |        | 4,081  | 20,266                  | 1,088   | 25,435 | 163        | 333,496     |

## ●大津港駐車場について



### 施設概要

- ・ 名称 大津港駐車場(大津市浜大津五丁目)
- ・ 収容台数 小型乗用車151台(地下構造)
- ・ 事業費 約15億円
  - 〔 河港課負担金3億円
  - 〔 有料道路事業費12億円(国、市中銀行からの借入9億円、県出資金1.8億円、大津市出資金1.2億円)
- ・ 計画駐車台数 185,055台/年(R3実績:28,681台/年、計画比15.5%)
- ・ 計有料金収入 107,474千円/年(R3実績:11,971千円/年、計画比11.1%)
- ・ 供用開始 平成9年4月1日
- ・ 料金徴収期間 令和9年3月31日(供用開始から30年間)